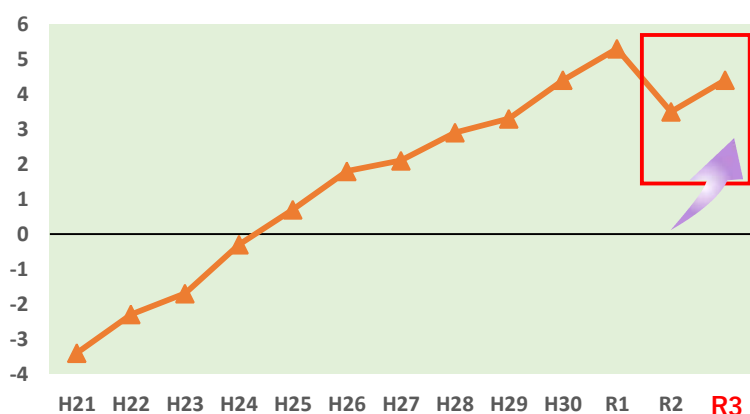


令和3年 地価調査の結果と主なニュース 【福岡市】

住宅地 変動率 (%)



R2 **3.5%** → R3 **4.4%**

利便性の高いエリアでは投資用不動産としての賃貸マンションの購入が未だ人気であり、優良物件の需要の競争は厳しい。夏場以降、物件の着工戸数や販売は復調している。



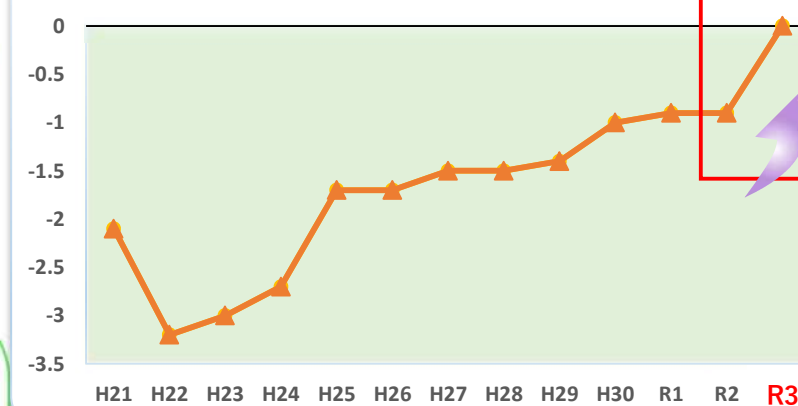
天神ビジネスセンター

主なニュース

米IT大手グーグルの日本法人が福岡市の天神に拠点を設ける方向で調整を進めている。入居先は「天神ビックバン」で規制緩和の適用第1号として9月末に完成した「天神ビジネスセンター」への入居を検討している。もしグーグルが入居を決めれば、今後、外資系企業の福岡進出が加速する可能性もある。

令和3年 地価調査の結果と主なニュース 【うきは市】

住宅地 変動率 (%)



R2 **-0.9%** → R3 **0.0%**

6地点ある住宅地の地価変動率は0%だった。コロナ禍で郊外に戸建を購入する宅地分譲の売行きも堅調で安定している。

主なニュース

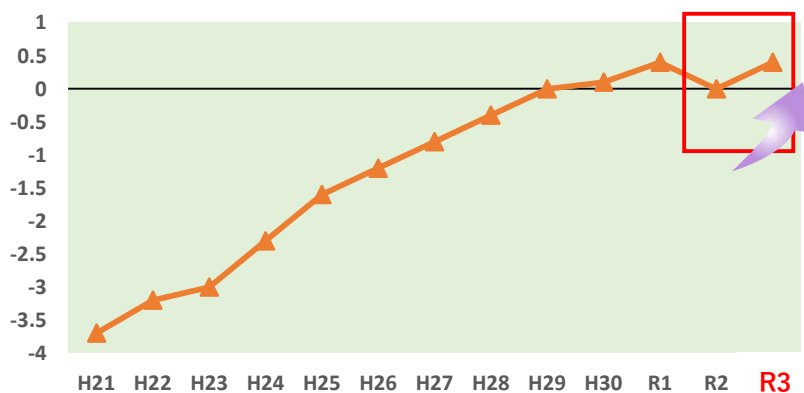
2023年夏、「道の駅うきは」に、米ホテル大手マリオット・インターナショナルと積水ハウスがホテルをオープンさせる予定。名称は「フェアフィールド・バイ・マリオット・福岡うきは」(仮称)。3階建て延べ約2,000平方メートル、客室51室(ツイン中心)で計画されている。



ホテル建設の様子

令和3年 地価調査の結果と主なニュース 【北九州市】

住宅地 変動率 (%)



R2 **0.0%** → R3 **0.4%**

北九州市自体は人口減少が続いているが、小倉北区は人口増加の傾向が続いており、利便性の高いマンション等が選好されている。また、福岡市への通勤圏にもなる八幡西区も上昇率を上げた要因の一つである。



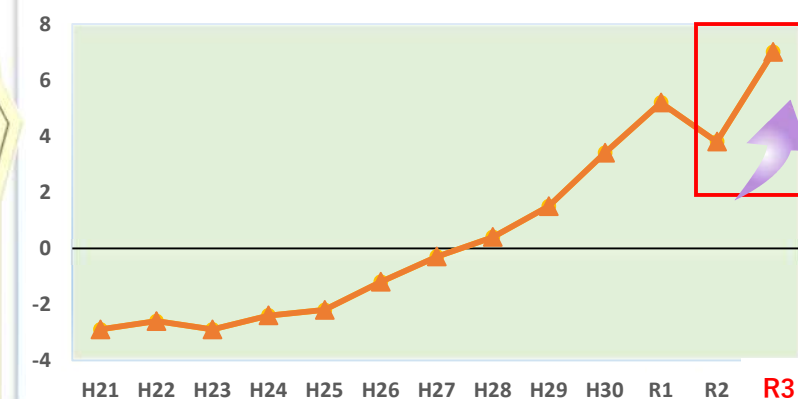
リバーウォーク北九州

主なニュース

北九州市の物流を支え続ける「若戸大橋」が重要文化財へ。1962年に建設された全長およそ627メートルのつり橋で、「東洋一のつり橋」とうたわれ、2つの支柱の距離は、当時としては最も長い367メートルに及び、その高い技術が評価された。

令和3年地価調査の結果と主なニュース 【糟屋郡宇美町】

住宅地 変動率 (%)



R2 **3.8%** → R3 **7.0%**

5地点ある住宅地は前年に比べ大幅な上昇。理由としては福岡市中心部に近く、先導的に土地価格が上昇してきた志免町や須恵町に比べた相対的な割安感や、コロナ禍のテレワークの影響で狭小な賃貸住宅から戸建住宅の購入を希望する個人が増えたことが考えられる。

主なニュース

2020年に宇美町は町政を施行して100周年を迎えた。合併などで区域を変えず町のまま100年を迎えることは珍しく、県内では芦屋町に次いで2例目である。



宇美八幡宮